

### ・(3-1) 生涯学習課所管事業

1. 女性センター運営・管理
2. 社会教育総務費
3. 野々市市成人式
4. 学習情報提供事業
5. ののいち市民大学事業
6. 生涯学習ボランティア支援事業
7. 家庭教育推進事業
8. 青少年活動支援事業
9. 少年育成センター運営事業
10. 野々市市立志式
11. 放課後子ども教室推進事業
12. 公民館施設運営・管理
13. ののいちマナビィフェスタ
14. 寿大学事業
15. フォルテ児童合唱団
16. 地区公民館支援事業
17. 青少年自然体験事業
18. 青少年健全育成地域活動推進事業
19. 富奥防災コミュニティセンター管理運営
20. 青少年情報メディア対策関連事業
21. 図書館運営・管理事業
22. 読書活動推進事業
23. 中央公民館移転事業

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		女性センター運営・管理			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備				自治事務 ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	女性の社会参画事業の実施と活動を支援・推進する拠点としての施設管理					
事業の内容	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動		平成29年度 活動実績	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	施設利用者			人	12000	12894	15157	15000
		サークル数			団体	30	26	26	24
事業のコスト	財源内訳	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	60	100	120			
		一般財源	(千円)	6,804	7,107	6,781			
	事業費計	(千円)	6,864	7,207	6,901				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・女性のための自主事業の実施 ・施設を利用したサークル活動の 推進	・女性のための自主事業の実施 ・施設を利用したサークル活動の 推進	・女性のための自主事業の実施 ・施設を利用したサークル活動の 推進

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	女性のニーズや社会状況にあった事業を企画することで、女性の活動を支援していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		女性のニーズや社会状況にあった事業を企画することで、女性の活動を支援していく。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		社会教育総務費			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				自治事務 ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	近隣大学や各団体と連携した社会教育の支援体制の充実を図り、市民が自主的、継続的な学習機会を得ることができ、学んだ成果を地域に還元できる生涯学習社会の構築に努める。					
事業の内容	年4回の社会教育委員会を開催し、生涯学習の推進を図る。市内で活動する社会教育団体の育成と補助金の交付。		平成29年度 活動実績	◇社会教育委員会議の開催 4回 ◇各団体への補助金の交付 女性協議会 650千円、スカウト育成会 550千円 子ども会 1,000千円、PTA連合会 750千円 生活学校 115千円、 各種女性団体連絡協議会 50千円 青少年ボランティア団体 50千円 社会教育委員会 75千円					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない		-	-	-	-	-	
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0			
			県支出金 (千円)	0	0	0			
			地方債 (千円)	0	0	0			
			その他 (千円)	0	0	0			
			一般財源 (千円)	4,397	4,386	4,761			
		事業費計 (千円)	4,397	4,386	4,761				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	社会教育の充実のため各関係機関の代表や学識経験者の意見を聞き、それを各事業に反映させることは必要である。 また生涯学習社会の充実のため、市内社会教育団体の育成は必須である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		各団体が更なる自立及び成熟を目指すよう、必要なフォローはしつつ見守っていくことが重要と考える。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		野々市市成人式			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	新成人の前途を祝福するとともに、人生の意義あるステップとなることを目的とする。				
事業の内容	アトラクション(20年のあゆみビデオ上映)、式典、記念写真撮影、実行委員の募集		平成29年度活動実績	実行委員会の運営、式典の開催。 対象者705人、参加者381人				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	実行委員会開催回数	回	10	7	4	8	
		参加率	%	-	43	54	45	
事業のコスト	財源内訳	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	850	859	844			
	事業費計 (千円)	850	859	844				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	式典開催、実行委員会運営	式典開催、実行委員会運営	式典開催、実行委員会運営

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	市として、新成人の前途を祝福するとともに、実行委員による運営を通して、新成人の社会参加活動を推進する。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		新成人としての自覚を促し、人生の意義あるステップとなるよう厳粛な式典とする。実行委員による運営を通して、新成人の社会参加活動を推進する。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		学習情報提供事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備				自治事務 ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務者に		事業の目的	各種公民館サークルの活動支援					
事業の内容	公民館サークル募集のチラシを全戸配布及び各公民館の来館者へ配布。		平成29年度 活動実績	中央公民館の休館にともないサークルの活動地を市内社会教育施設に振り分けた。					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	成果指標になじまない		なし	-	-	-	-	
		成果指標になじまない		なし	-	-	-	-	
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0			
			県支出金 (千円)	0	0	0			
			地方債 (千円)	0	0	0			
			その他 (千円)	0	0	0			
			一般財源 (千円)	130	130	130			
		事業費計 (千円)	130	130	130				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・各種公民館のサークル情報のチラシの作成 ・作成したチラシの全戸配布及び公民館来館者への配布 ・広報での生涯学習施設関連情報の提供 ・ブログでの公民館活動情報の提供	・各種公民館のサークル情報のチラシの作成 ・作成したチラシの全戸配布及び公民館来館者への配布 ・広報での生涯学習施設関連情報の提供 ・ブログでの公民館活動情報の提供	・各種公民館のサークル情報のチラシの作成 ・作成したチラシの全戸配布及び公民館来館者への配布 ・広報での生涯学習施設関連情報の提供 ・ブログでの公民館活動情報の提供

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		タイムリーな情報の発信。インターネットを利用する世代を対象とした発信を目的に各公民館の情報を発信するブログを運用を続ける。	

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		ののいち市民大学事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				自治事務 ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市民が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	市内及び近隣大学と連携し、情報化や環境保全、地域文化の発信など社会の課題に対応した学びの場を地域住民に提供するとともに、一人ひとりの学習成果を地域に還元できる生涯学習社会の構築を目指す。					
事業の内容	◇コミュニティカレッジ(市民の運営による教養講座) ◇マイ・タウン塾(町内会単位での講座) ◇公開講演会(放送大学と連携した公開講座) ◇市民で構成する企画委員会を開催		平成29年度 活動実績	◇ののいちコミュニティカレッジ 18講座(交流会含む)、延べ556人受講 ◇マイ・タウン塾 4町内会で実施、136人受講 ◇企画委員会 企画委員会を10回開催					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	参加者数(コミュニティカレッジ、マイ・タウン塾、公開講演会)		人	570	779	692	780	
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		財源内訳	国庫支出金(千円)	0	0	0			
			県支出金(千円)	0	0	0			
			地方債(千円)	0	0	0			
			その他(千円)	0	0	0			
			一般財源(千円)	192	220	225			
		事業費計(千円)	192	220	225				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	コミュニティカレッジ、マイタウン塾、公開講演会	コミュニティカレッジ、マイタウン塾、公開講演会	コミュニティカレッジ、マイ・タウン塾、公開講演会

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	より多くの方に参加していただくため、講座の内容を企画委員会で検討した。受講生へアンケートを実施することで、市民のニーズを把握し、企画・運営に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		社会のトレンドや市民のニーズを把握し、より多くの方が興味を持って参加いただけるよう企画する。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		生涯学習ボランティア支援事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				自治事務 ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市民から近隣地域住民に		事業の目的	知能・技能・経験を有する地域の方を「学びのサポーター」として登録し、その活動の場を設ける。もって青少年の体験活動の機会の拡大・住民のまちづくりへの参画意識の向上・学社連携の強化を図る。					
事業の内容	・学びのサポーターの登録:サポーターを随時募集、データベースの作成 ・学びのサポーターの活用:「学びのサポーターと作る夏休み体験」各地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施。「地域人材活用助成」各小中学校での地域人材を活用した講座実施を助成。		平成29年度 活動実績	・学びのサポーターの登録:サポーターを随時募集、データベースの作成 ・学びのサポーターの活用:「学びのサポーターと作る夏休み体験」各地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施。「地域人材活用助成」各小中学校での地域人材を活用した講座の実施を助成。					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	学びのサポーター登録・活用事業参加		人	300	214	147	300	
		学びのサポーター登録数		人	30	23	23	15	
事業のコスト	財源内訳	区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度予算		
		国庫支出金 (千円)	0		0		0		
		県支出金 (千円)	0		0		0		
		地方債 (千円)	0		0		0		
		その他 (千円)	0		0		0		
		一般財源 (千円)	92		76		138		
	事業費計 (千円)	92		76		138			

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学びのサポーター登録及び募集、データベースの作成・学びのサポーターの活用:地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施、サポーター自主企画講座を実施	学びのサポーター登録及び募集、データベースの作成・学びのサポーターの活用:地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施、サポーター自主企画講座を実施	学びのサポーター登録及び募集、データベースの作成・学びのサポーターの活用:地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施、サポーター自主企画講座を実施

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	サポーター登録者、活用件数を増やすため市広報やHPなどで、当事業に関する情報提供を増やしたい。サポーターによる自主企画講座など、登録者が活動する場を検討していきたい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		登録内容の変更に伴ってサポーターリストのHP上での公開とし、活用希望者や登録希望者への情報提供を続ける。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		家庭教育推進事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 4 学び合う、支え合う地域社会づくり			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(1) 家庭教育、子育て支援の充実				ソフト事業 単独事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育総合基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市内保護者に		事業の目的	少子高齢化や核家族化、地域の希薄化など、保護者や子どもたちがとりまく社会環境が変化中、支え合う地域社会を目指して家庭、地域、学校の連携を強化しながら社会全体で子どもたちの成長を支援する。				
事業の内容	◆家庭教育推進協議会の開催(年2回) ◆家庭教育に関する学習機会の提供 家庭教育学級 幼児家庭教育講座 就学児子育て講座 思春期子育て講座 ◆子育て・学習情報の提供、家庭教育支援 家庭教育サポーターの養成・活動		平成29年度活動実績	◆家庭教育推進協議会の開催(年2回)◆家庭教育に関する学習機会の提供①家庭教育学級(7校16講座1014名参加※PTA委託)②幼児家庭教育講座(10園10講座294名参加)③就学児子育て講座(5校600名参加)④思春期子育て講座(2校453名参加) ◆子育て・学習情報の提供、家庭教育支援 家庭教育サポーターの養成・活動:家庭教育サポーター27名、なかよしの日での保護者とのふれあい活動				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	家庭教育学級への参加人数	人	800	963	1014	1000	
		家庭教育サポーター人数	人	35	23	27	25	
事業のコスト	事業費	区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度予算	
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0	0	
		県支出金 (千円)	0	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0	0		
		一般財源 (千円)	877	909	932			
	事業費計 (千円)	877	909	932				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	さまざまな機会を活用した家庭教育支援。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。家庭教育サポーター養成講座	さまざまな機会を活用した家庭教育支援。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。	さまざまな機会を活用した家庭教育支援。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。家庭教育サポーター養成講座

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	人格形成の基礎である家庭教育の充実をはかることは、青少年の健全育成へつながる。各家庭の自主性を尊重しつつ、必要な取組を進める必要がある。インターネットを生活必需品とする現在の子育て世代に対応するためにはWEB上での発信が求められる。専門知識を有するののいちはぐドットネット運営委員会と協力することで情報発信等に努めていきたい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		インターネットを生活必需品とする現在の子育て世代に対応するためにはWEB上での発信が求められる。専門知識を有するののいちはぐドットネット運営委員会と協力することで情報発信等に努めていきたい。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		青少年活動支援事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	ボランティア活動、地域交流事業を通して社会・生活体験を深め、豊かな心と実践力を養う。				
事業の内容	青少年ボランティア団体「ボランティア探検隊飛鳥」におけるボランティア活動、地域交流活動。		平成29年度活動実績	福祉施設でのボランティア体験や各種イベント補助。花いっぱい運動への参加。募金活動。交流会。会員募集ポスター作りなど。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	ボランティア探検隊飛鳥 活動日数	日	20	10	12	11	
		ボランティア探検隊飛鳥 会員数	人	30	8	11	9	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	34	34	90			
	事業費計 (千円)	34	34	90				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	福祉施設でのボランティア体験や各種イベント補助。花いっぱい運動への参加。募金活動。交流会。会員募集ポスター作りなど。	福祉施設でのボランティア体験や各種イベント補助。花いっぱい運動への参加。募金活動。交流会。会員募集ポスター作りなど。	福祉施設でのボランティア体験や各種イベント補助。花いっぱい運動への参加。募金活動。交流会。会員募集ポスター作りなど。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等) 会員数が減少傾向にあるため、活動時に新規会員募集の呼びかけや、知名度をあげるために広報活動を行う。			

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		少年育成センター運営事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成				ハード・ソフト事業 単独事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市内店舗及び市民に		事業の目的	地域に密着した啓発活動及び巡視活動を行い、青少年の非行防止及び育成指導を図る。				
事業の内容	青少年の育成指導及び非行防止と健全育成事業。		平成29年度活動実績	街頭巡視びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	街頭巡視活動を行う人数		延べ人数	687	834	980	800
		インターネット巡視活動を行う人数		延べ人数	170	166	100	100
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算		
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0		
			県支出金 (千円)	0	0	0		
			地方債 (千円)	0	0	0		
			その他 (千円)	0	0	0		
			一般財源 (千円)	5,679	5,745	5,721		
		事業費計 (千円)	5,679	5,745	5,721			

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。	街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。	街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	青少年を取り巻く環境は年々複雑さを増しており、それぞれに抱える問題の多様化も進んでいる。その中において、子どもたちと直接関わる街頭巡視、インターネット上の青少年に関する問題を見回すインターネット巡視は、市内青少年の育成指導や非行防止に大きな役割を果たしている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		Web上で発生していることについてはインターネット巡視では発見できないことも多く、家庭、学校との連携が必要である。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		野々市市立志式			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成				ソフト事業 単独事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法			
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市内在住の中学2年生に		事業の目的	人生の分岐点に立つ14歳の少年少女が、自ら志を立て、次代を担う者としての自覚と希望を持つための機会とする。				
事業の内容	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。		平成29年度活動実績	講演会テーマ「将来、街から“外国人”が消える…」 講師:山田 和夫 氏 (NPO法人YOU-I 代表理事)				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	立志式出席者数		人	-	496	483	490
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算		
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	70	70	70			
	事業費計 (千円)	70	70	70				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	式典や講演会を通して、立志の意義を知り、大人になることへの心構えについて改めて考える機会となっている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		子どもたちの発達期に適したテーマ内容を検討する		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		放課後子ども教室推進事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務			
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(3) 家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上				ソフト事業 補助事業			
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市内小学1年生～3年生に		事業の目的	放課後に地域の社会教育施設や小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達が心豊かで健康やかに育まれる環境をつくる。					
事業の内容	◇野々市小学校放課後ふれ愛ルーム 毎週水曜日25名 ◇御園小学校放課後子ども教室 毎週水曜日20名 ◇菅原小学校放課後子ども教室 毎週金曜日25名 ◇館野小学校放課後子ども教室 毎週木曜日31名 ◇富陽小学校放課後子ども教室 毎週水曜日26名 ◇こどもセンター放課後子ども教室 毎週月曜日16名		平成29年度活動実績	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、高校見学、大学見学、フラワーアレンジメント、お茶会、ネイチャーゲーム、なわとび、防災教室、おりがみ、プラ板作り、バス見学、各種体験活動 6教室延べ153回実施					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	参加募集チラシ配布人数		人	1200	1200	1200	1200	
		参加人数		人	160	148	143	138	
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	1,355	1,384	1,457				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	0	0	0				
		一般財源 (千円)	851	764	750				
	事業費計 (千円)	2,206	2,148	2,207					

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、高校見学、大学見学、フラワーアレンジメント、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、なわとび、防災教室、むかし遊び、プラ板作り、バス見学、各種体験活動	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、高校見学、大学見学、フラワーアレンジメント、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、なわとび、防災教室、むかし遊び、プラ板作り、バス見学、各種体験活動	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、高校見学、大学見学、フラワーアレンジメント、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、なわとび、防災教室、むかし遊び、プラ板作り、バス見学、各種体験活動

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	継続して子どもたちに様々な体験活動を提供するため、地域と関わり合いを持ちながら地域ボランティアの確保に努めたい。 また、放課後児童クラブとの連携事業を推進していきたい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		継続して子どもたちに様々な体験活動を提供するため、地域と関わり合いを持ちながら地域ボランティアの確保に努めたい。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		公民館施設運営・管理			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備				自治事務 ハード・ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	適切な施設管理運営を実施し、市民及び施設利用者に快適な施設利用環境を提供する。					
事業の内容	(中央公民館・野々市公民館・郷公民館・押野公民館) 維持管理、運営		平成29年度 活動実績	(中央公民館・野々市公民館・郷公民館・押野公民館) 維持管理、運営 中央公民館においては建替のため平成29年7月末から休館。					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	利用件数		件	5700	4247	4472	4000	
		サークル数		団体	78	71	69	66	
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	450	360	120			
		一般財源	(千円)	34,340	23,486	17,695			
	事業費計	(千円)	34,790	23,846	17,815				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・公民館(中央・野々市・郷・押野)の維持管理、運営 平成31年4月、新中央公民館を含む地域中心交流拠点施設が開館予定。	・公民館(中央・野々市・郷・押野)の維持管理、運営	・公民館(中央・野々市・郷・押野)の維持管理、運営

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	地区住民を中心に市民から幅広い利用があり、適切かつ計画的な維持管理が必要である。 平成31年4月、新中央公民館を含む地域中心交流拠点施設が開館予定。
	A	A			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		適切な施設管理運営を計画的に行う		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		ののいちマナビフェスタ			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				自治事務 ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	生涯学習社会の実現に向け、生涯学習活動の啓発と発表の機会を設けることにより、一人ひとりが生きがいを実感し、生涯学習への意欲を高めると共に参画を促し、生涯学習の一層の振興を図る。					
事業の内容	中央公民館、文化会館、カメラ、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月上旬を予定し、作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを実施		平成29年度 活動実績	中央公民館の休館に伴い、平成29年度は文化会館、カメラ、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月上旬まで。作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを実施した。					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	マナビフェスタ音楽祭、芸能民謡祭参加者数		人	800	713	629	700	
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	0	0	0				
		一般財源 (千円)	1,250	1,335	1,250				
	事業費計 (千円)	1,250	1,335	1,250					

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	↑	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	新中央公民館の使用が可能となるため、さらに生涯学習の活動発表を発展させたかたちで提供をしていく。	生涯学習の活動発表を発展させたかたちで提供をしていく。	生涯学習の活動発表を発展させたかたちで提供をしていく。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	平成31年度の新中央公民館竣工に向け、限られた施設でより市民が集まるイベントを行う。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		平成31年度の新中央公民館竣工に向け、限られた施設でより市民が集まるイベントを行う。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		寿大学事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	2 生涯健康 心のかよふ福祉のまち【福祉・保健・医療】 3 高齢者と障害のある方の福祉の推進 3 いきいきとした高齢期の実現			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備				自治事務 ソフト事業 単独事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が60歳以上の市民(大学校)、寿大学の修了者(大学院)に		事業の目的	熟年者が明るく豊かで生きがいのある生活を送るため、高齢社会における課題を把握し、学習活動を通じて知識や教養を身に付けること。また、生涯学習の推進と仲間とのふれあいの場をつくること。				
事業の内容	寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座を開講する。 寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチの8コースに分かれて自主的に専門的な学習を行う。		平成29年度 活動実績	寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年18回の講座を開講した。 寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチの8コースに分かれて自主的に専門的な学習を行った。				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	大学校受講者数		人	42	50	50	50
		大学院受講者数		人	195	192	199	218
事業のコスト	事業内訳	区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度予算	
		国庫支出金 (千円)	0		0		0	
		県支出金 (千円)	0		0		0	
		地方債 (千円)	0		0		0	
		その他 (千円)	0		0		0	
		一般財源 (千円)	1,500		1,250		1,500	
	事業費計 (千円)	1,500		1,250		1,500		

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座 ・寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチの8コースの実施	・寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座 ・寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチの8コースの実施	・寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座 ・寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチの8コースの実施

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	今後も継続して高齢者に様々な分野の学習の場を提供し、充実した生涯学習を行える環境を整えていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		活動内容の充実を図り、魅力ある活動を続ける。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		フォルテ児童合唱団			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				自治事務 ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学1年生～6年生(中・高校生も可) に		事業の目的	コーラスを通じて色々な歌に親しみ、情緒豊かな感性を 養うとともに、学校や学年を超えた仲間作りを行う。					
事業の内容	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:他団体とのジョイントコンサート、マナビフェ スタ、椿まつりなどに出場		平成29年度 活動実績	定例活動日時:毎週金曜日、午後5時～6時30分 その他:各種コンクール、マナビフェスタ、椿まつりなど に出場					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	団員数		人	50	29	34	39	
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0			
		一般財源	(千円)	200	200	200			
事業費計	(千円)	200	200	200					

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	定例活動日時:毎週金曜日、午後 5時～6時30分 その他:他団 体とのジョイントコンサート、マ ナビフェスタ、椿まつりなどに 出場	定例活動日時:毎週金曜日、午後 5時～6時30分 その他:他団 体とのジョイントコンサート、マ ナビフェスタ、椿まつりなどに 出場	定例活動日時:毎週金曜日、午後 5時～6時30分 その他:他団 体とのジョイントコンサート、マ ナビフェスタ、椿まつりなどに 出場

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	児童合唱団などの青少年の文化・芸術団体の文化活動推進は、青少年健全育成 活動において重要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		発表の場を広げ活動内容の充実を図り、魅力ある活動を続ける。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		地区公民館支援事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策			
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				自治事務 ソフト事業 単独事業			
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	地域の連帯及び生涯学習意欲の向上を目指し、各地区公民館を活動の拠点として、地域に根ざした種々の行事、教室等の場を提供することにより、地域住民のより一層の向上を目指す。					
事業の内容	地区の公民館では、運動会、教養講座、レクリエーション及びふるさと教育等を実施し、地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。		平成29年度活動実績	地区の公民館では、運動会、教養講座、レクリエーション及びふるさと教育等を実施し、地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない		-	-	-	-	-	
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0			
		一般財源	(千円)	4,500	4,500	4,500			
	事業費計	(千円)	4,500	4,500	4,500				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	教養やふるさと教育講座の実施/地区市民の親睦を図る運動会の実施/市民の生涯学習活動の場の提供	教養やふるさと教育講座の実施/地区市民の親睦を図る運動会の実施/市民の生涯学習活動の場の提供	教養やふるさと教育講座の実施/地区市民の親睦を図る運動会の実施/市民の生涯学習活動の場の提供

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	運営審議会での意見や住民の要望を取り入れながら、地域に根ざした事業を実施していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		地域に根ざした事業を実施し、地域住民の親睦を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供していく。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		青少年自然体験事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				自治事務 ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学生に		事業の目的	人間性豊かな青少年の健全育成を図るため、地域の人々の協力を得ながら子どもたちに体験の場と機会を提供する。					
事業の内容	◇青少年自然体験:自然の中での体験教室の開催		平成29年度 活動実績	自然体験(2回 市内小学生延べ40名参加) 第1回 おいしい名水といしかわ動物園の裏側を探ろう! 能美市(遣水観音山)・いしかわ動物園 第2回 かんじき体験と雪遊び 白山市(吉野谷セミナーハウス周辺)					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	数値指標の設定になじまない			-	-	-	-	-
事業のコスト	事業費	区分			平成28年度	平成29年度	平成30年度予算		
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	0	0	0				
		一般財源 (千円)	200	200	200				
事業費計 (千円)	200	200	200						

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。	地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。	地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	子どもたちの生きる力を育み、人間性豊かな青少年の育成が求められる中で、様々な体験の場と機会を提供する事業として重要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		子ども達が興味を持つテーマや、安全に活動できる内容を検討する。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		青少年健全育成地域活動推進事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成				ハード・ソフト事業 単独事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	家庭、学校、青少年育成関係団体及び地域住民が一体となり、地域に密着した啓発活動・実践活動を展開し、青少年の健全育成活動の推進を図る。				
事業の内容	地域の社会環境や青少年の実態に対応した青少年健全育成事業。(“ののいちっ子を育てる”市民会議へ委託)		平成29年度活動実績	愛と和のひと声運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃(開催日が雨天)。メディア対策事業。非行防止活動。第8回子どものケータイ利用を考える全国市民ネットワーク全国会議野々市大会の誘致・開催。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	子どもと大人のまちぐるみ美化清掃参加者	人	12000	5736	6216	1100	
事業のコスト	事業費	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	2,023	2,232	1,734			
事業費計 (千円)	2,023	2,232	1,734					

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	愛と和 ののいち5万人あいさつ運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。メディア対策事業。非行防止活動。	愛と和 ののいち5万人あいさつ運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。メディア対策事業。非行防止活動。	愛と和 ののいち5万人あいさつ運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。メディア対策事業。非行防止活動。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	少子化や核家族化などの広がりにより、地域連携感の薄れや地域住民とふれあう機会の減少が指摘されるなか、市内の各種団体・機関で構成された市民団体による地域活動への支援は、青少年健全育成活動を進めるためには欠かせないものとなっている。地域の大人が子どもと接し、周囲から見守るこうした地道な啓発事業は継続することが重要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		38年間、継続してきたあいさつ運動「愛と和のひと声運動」を平成30年度より「愛と和 ののいち5万人あいさつ運動」に名称変更し、あいさつが全市に広がるよう事業を拡大していく。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		富奥防災コミュニティセンター管理運営			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	3 安心とぬくもりを感じるまち【安全安心】 2 消防と救急体制の充実 2 避難場所、防災用備蓄の充実			区分	自治事務 ハード・ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備						
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	平成26	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	市地域防災計画		根拠法令	災害対策基本法			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	防災施設の充実を図る。				
事業の内容	防災施設の維持・管理運営、防災関連事業の実施		平成29年度 活動実績	防災意識啓発事業、防災・災害知識向上事業の実施				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない		-	-	-	-	
事業のコスト	事業費	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	490	790	880			
		一般財源 (千円)	7,868	10,292	9,792			
	事業費計 (千円)	8,358	11,082	10,672				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・防災コミュニティセンターの維持管理・運営 ・防災意識啓発事業、防災・災害知識向上事業の実施	・防災コミュニティセンターの維持管理・運営 ・防災意識啓発事業、防災・災害知識向上事業の実施	・防災コミュニティセンターの維持管理・運営 ・防災意識啓発事業、防災・災害知識向上事業の実施

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)			
	地区住民を中心に、市民から幅広い利用があり、今後も適切かつ計画的な維持管理が必要である。また、身近な防災施設として防災意識の啓発など関連事業を行っていく。			

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		青少年情報メディア対策関連事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成				ソフト事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市内の青少年を有害情報から守り、情報社会における正しい判断力と生活習慣を養うことができるよう、各団体及び機関の自主的な取り組みを支援し、家庭・地域・学校の連携を促すための連絡調整を行う。				
事業の内容	青少年のメディア問題に関する啓発活動、実践活動を展開し、健全育成活動の効果的な推進を図る。		平成29年度活動実績	保護者向けメディアリテラシー講座の開催 ネット被害・モバイル端末マナーおよび生活習慣の啓発チラシ等作成 先進地視察研修 情報メディア小・中学校教員研修 野々市市青少年メディア対策連絡協議会の実施(年3回)				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	保護者向け研修会参加者		人	200	113	398	400
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	0		
		県支出金	(千円)	0	0	0		
		地方債	(千円)	0	0	0		
		その他	(千円)	0	0	0		
		一般財源	(千円)	600	600	600		
	事業費計	(千円)	600	600	600			

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	保護者向け研修会 メディア問題啓発チラシ作成 情報モラル教育の推進 ネット巡視 野々市市青少年メディア対策連絡協議会の開催	保護者向け研修会 メディア問題啓発チラシ作成 情報モラル教育の推進 ネット巡視 野々市市青少年メディア対策連絡協議会の開催	保護者向け研修会 メディア問題啓発チラシ作成 情報モラル教育の推進 ネット巡視 野々市市青少年メディア対策連絡協議会の開催

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	子どもや保護者へ、スマートフォンやインターネット関連機器の正しい知識とそれらが子どもにあたえる影響についての学習を促し、子どもを守る必要があるため。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		各団体の持つ情報の共有を促進する		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		図書館運営・管理事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				自治事務 ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	図書館法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民、市内勤務・通学の方、石川中央都市圏の住民に。		事業の目的	利用者が必要とする多様な資料や情報の提供ならびに市民の読書を推進する。					
事業の内容	資料の収集、整理、提供、図書の貸出・返却等業務。レファレンスサービス。移動図書館車の運行。学校図書館の支援及び連絡車の運行。図書館だよりの発行。		平成29年度 活動実績	11月に図書館機能を含む新しい複合社会教育施設「学びの杜ののいち カレード」が開館した。講演会、おはなし会、上映会等、市民学習センター機能と融合した施設の特徴を生かした様々な事業を実施した。					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	貸出冊数		冊	-	96000	226804	500000	
		貸出人数		人	-	30000	56685	125000	
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	1,200	5,413			
		一般財源	(千円)	18,183	9,890	290,499			
	事業費計	(千円)	18,183	11,090	295,912				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	引き続き民間事業者による図書館運営 市子ども読書活動推進計画(第三次)の策定	引き続き民間事業者による図書館運営	引き続き民間事業者による図書館運営

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	さらに利用が増えるような魅力ある事業を行っていく必要があり、そのために運営事業者に対し、市として出来る限りの支援、協力を行っていく。
	A	A			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		事業者が円滑に図書館運営を行うために必要な支援、協力を行っていく。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		読書活動推進事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				自治事務 ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画 野々市市子ども読書活動推進計画		根拠法令	子どもの読書活動の推進に関する法律					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が ①7カ月児とその保護者に(ブックスタート) ②3歳児に(読み聞かせ) ③幼児～低学年児童に(おはなし会) ④10代の若者に ⑤市民全般に		事業の目的	子どもが自ら進んで読書を楽しむようになること。 子どもを取り巻く社会全体が連携して子どもの読書を 支えること。 読書の楽しさを広め推し進めることができるボランティア の育成と活用。					
事業の内容	読書の大切さを伝える。 子どもと絵本を読むことの楽しさや大切さを体験を通 して親子に知ってもらおう。 ボランティアの育成と活用。		平成29年度 活動実績	おはなし会、ブックスタート、絵本や紙芝居の読み聞 かせ、ボランティアの育成と活用、ののいち子ども読書 の日関連事業					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	活動日数(ブックスタート)		日	24	24	24	23	
		参加親子(ブックスタート)		組	-	646	650	624	
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度予算		
		国庫支出金 (千円)	0		0		0		
		県支出金 (千円)	0		0		0		
		地方債 (千円)	0		0		0		
		その他 (千円)	0		0		0		
		一般財源 (千円)	966		927		0		
	事業費計 (千円)	966		927		0			

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	事業は指定管理者が実施することとなり、運営の委託費は図書館運営・管理事業に一括して計上する。	事業は指定管理者が実施することとなり、運営の委託費は図書館運営・管理事業に一括して計上する。	事業は指定管理者が実施することとなり、運営の委託費は図書館運営・管理事業に一括して計上する。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 図書館運営が指定管理者に移行したのを機に、事業を図書館運営・管理事業に統合したため。
	A	F		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		指定管理者が図書館運営・管理事業の一つとして実施していくこととなった。	

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		中央公民館移転事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	重点プロジェクトⅢ 関連施策			
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備				自治事務 ハード事業 単独事業			
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	29	年度		
					終了予定	30	年度		
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法					
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	新施設を活用し、多くの人が出会いふれあいを育む事業を実施することで、にぎわい効果を全市に波及させること					
事業の内容	移転に伴う各種手続き等 例として、閉館中、中央公民館を定期的に活用していた団体の活動の場を、カレード等に振り分け、活動が途切れぬよう配慮した。		平成29年度活動実績	7月末 中央公民館閉館 8～10月 事務所を富奥防災コミュニティセンターへ移行 11月～ 事務所を学びの杜ののいち カレードへ移行					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	成果指標	数値指標の設定になじまない 入力してください	人 -	- -	- -	- -	- -	- -	
事業のコスト	事業費	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算				
		国庫支出金 (千円)	0	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0	0			
		一般財源 (千円)	0	3,266	407				
事業費計 (千円)	0	3,266	407						

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開			
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)			

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	今年度中に移転を終え、竣工式及びオープニングイベントを行う。
		E			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	新中央公民館への移転をスムーズに行う。			

### ・(3-2) 学識経験者からの意見

#### 【生涯学習、青少年、図書館関係】

公民館事業についてのブログの開設やサークル活動についてのチラシの全戸配布など多様な方法で公民館活動についての情報を市民に提供されていることは有意義であり、新しい中央公民館の開館に向け、今後もさらなる情報発信の充実をお願いしたいと思います。また、公民館事業として地域の活性化や、伝統・文化の継承を行うため、生涯学習課だけではなく文化課との協力が必要かと思えます。

コミュニティカレッジ、マイタウン塾、公開講演会や寿大学・大学院などの公民館事業により、市民に多様な形で生涯学習の機会が提供されており、その内容も年々充実していると思えます。社会のトレンドや市民のニーズの的確に把握により、これまで以上の多くの市民が参加できるように更なる充実をお願いしたいと思います。

生涯学習課が管理・運営を行っている公共施設の駐車場が利用者にとって安全且つ利用しやすいよう案内看板等を設置していただきたいと思えます。

愛と和のひと声運動、まちぐるみ美化清掃、メディア対策事業や非行防止活動など青少年育成活動は地味な活動ではありますが、美化清掃への参加者数の増加傾向や愛と和のひと声運動の「愛と和 ののいち5万人あいさつ運動」への名称変更など、これらの活動が市民の間に着実に広がりつつあるようです。今後の一層の拡大をお願いしたいと思います。

保護者向けメディアリテラシー研修会への参加者が増加していることや、「子どものケータイ利用を考える全国市民ネットワーク全国会議野々市大会」を誘致・開催でき、多くの市民の方々に参加していただけたことは大きな成果と考えます。今後の活動の拡大をお願いしたいと思います。

図書館機能を含む「学びの杜ののいち カレード」が開館以来、想定を超える利用者が訪れているのは市民としては誇らしいことです。講演会、おはなし会、映画の上映会など様々な事業の実施や購入図書を選択についての市民目線でのチェック体制などによるところも大きいと考えます。今後も更なる充実をお願いします。また、利用者の増大は喜ばしいことではありますが、そのことによるマイナス面への適切な対応も大切であり、一層の利用者増加に繋げていただきたいと思えます。

### ・(3-3) 今後の方針

#### 【生涯学習、青少年、図書館関係】

- ① 公民館事業の情報発信については、より多くの市民に情報が伝わるよう努めて行きます。文化課との連携については事業内容の必要に応じ対応していきます。  
また、多くの市民が生涯学習事業に興味を持ち、気軽に参加できるよう、情報を収集し、市民が求めるニーズに合った事業内容の充実にも努めていきます。  
管理・運用を行っている公共施設駐車場の安全な運用についても必要に応じ看板等の設置を行います。
- ② 青少年育成活動については、“ののいちっ子を育てる”市民会議が企画し、行っている事業がより市民に浸透するよう、生涯学習課は行政担当課として活動を支えていきます。
- ③ メディア対策事業については、市青少年メディア対策連絡協議会が中心となり、各構成団体がそれぞれの環境に合ったメディアリテラシー啓発活動を時代の情報を読み取りながら行い、あらゆる世代の市民が安全・安心に情報メディアに触れられるよう取り組んでいきます。
- ④ 図書館の事業については管理・運用を行う指定管理者と常に協議・調整を行い、市民からの声も随時反映し、市民のニーズに合った図書館運営に努めます。